ダビンチコード第二段 レオナルドのモナ・リザの謎に迫る

琉球大学工学部 仲座栄三 2022/10/09 サイトより引<u>用いたしております。</u>

<u> ギャラリー:「ダ・ヴィンチはやはり天才」と感じる500</u> 年前のノート 写真と画像13点 page2 (nikkeibp.co.jp)



NATIONAL GEOGRAPHIC

男性の横顔に、理想 的な人体の比率を表 す幾何学的図形が描 かれている。1490年 頃の作品。アカデミ ア美術館所蔵。

引用

https://natgeo.nikkeibp.co.jp/at cl/gallery/081501492/?P=4

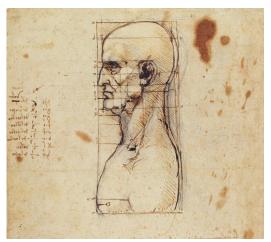
男性の顔の下、胸の当たりをよくみると、背後から見た女性の裸の姿が 浮かびあがる。

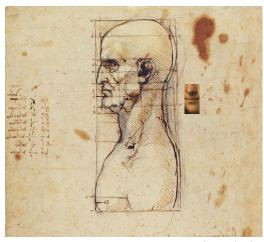
Sep. 19/2022 Eizo NAKAZA https://suikou.io/

前回投じた第一段では、

「男性の横顔」で美しく見える比率が示されていることになっているのだが、次のような疑問が挙げられる。

- 1) なぜ対象となした男性の横顔は、美しさよりも厳格さを醸し出す容貌となっているのか。
- 2) 男性の横顔に潜ませた女性の臀部の意味は何なのか。
- 3) 男性の横顔に潜ませた正面向きの顔の一部は女性なのか。
- 4) 美しく見える比率に、「潜ませた」理由はなんなのか。
- 5) 上記の謎からは、男性の横顔の比率が、実は特定の女性の裸身に対する美しさの表現ではなかったのか、と問われる。
- 6) その裸身の女性は誰なのか。女性と推定される正面向きの顔は だれか。また、裸身と関係するのか。
- 7) なぜ、潜ませた顔はほんの一部でしかないのか?その特徴に謎が集約されていないか。





この一枚が女性の裸身は、モナリザであることのインスピレーションをもたらせた。ここから物語は始まる。2022/10/9

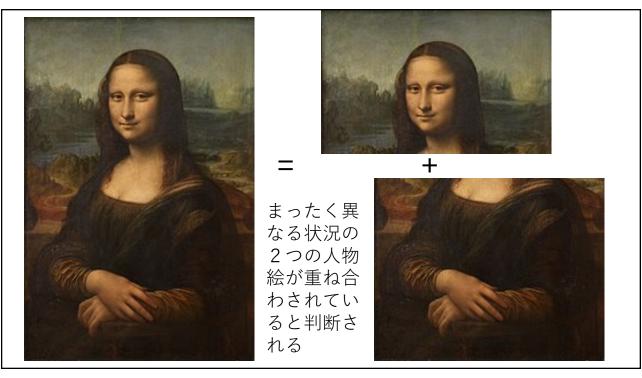
正面を向いた顔の一部が見え、モナ・リザの微笑んだ口元と顎の部分が描かれていると判断される。右は、モナ・リザの絵の口元部分を張り付けたものである。 左の男性の首の筋の存在は、男性の横向き顔からは不自然である。



「モナ・リザ」の謎を 解く鍵は、「男性の横 顔」に秘められている のか? 2022/10/9

まず、このモナ・リザの絵について、顔の傾き具合と、胴体部の傾き具合に不整合が見られる

ウィキペディア







首から下の胴体部のふくよかさや豪華さ、そしてその背景に比較し、顔の部分やその背景の部分とでは明らかに違いが見られる。ばらしてみると、それぞれの絵の安定感が分かる。それらは、まったく別ものではないか?



肖像画制作の依頼 を受ける以前で、 若い頃の彼女の容 姿と背景? 肖像画制作の依頼 を受けた当時の彼 女の容姿?



『モナ・リザ』には、描かれている女性が裸身で表現されている模写も何点か存在している。これらの作品から、レオナルドが描いた裸身の『モナ・リザ』が存在していたのではないかとする説がある[60]。

ウィキペディア https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A2%E3%83%8A %E3%83%BB%E3%83%AA%E3%82%B6

だが、そのような作品は見つかっていない。

以上から推測されることは、

「レオナルドは、フランチェスコ・デル・ジョコンドから妻モナ・リザの肖像画制作の依頼を受けた」ものの、顔の部分はかつて彼女の裸身を描いた時の彼女を、胴体部分は依頼された当時の彼女を重ねたのではなかろうか。しかし、そのことを露わにすることはできず、秘める形で残したのではないか。このことは、レオナルドが、モナリザを最後まで側に置き、描き続けた理由にも迫る。

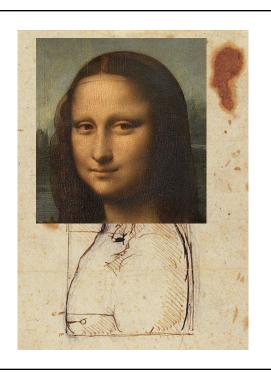


モウするたは以らるそりがかに存かきろでたいで がのに存かきろでたとの が応すま由かめすらる を が応すま由かめすらる。





「ナる完そはよと部中リがき合関・と壁の、り変へのザーと性のがすあ果性、し変び首すの指顔顔、は胸胸性同すとく。きてに重状る部い胸に。ナれのがるモねが。分うへ臀背・と向整。



さらに踏み込んで推測するのなら、 モナ・リザとレオナルドとは以前からの知り合いで あり、その時点で、モナリ・ザの裸身が描かれた。

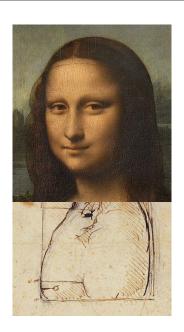
後に、モナ・リザの夫の依頼を受けて彼女を描くことになるが、レオナルドは、胸や腕の当たりに当時の彼女の豊かな生活を表象する姿を描くが、顔の部分には以前の彼女とその風景を描いたのではなかろうか?

「男性の横顔」には、彼女の裸身が秘められている のではなかろうか。

「モナ・リザが描かれた当時の16世紀では、無造作に下ろした髪は未婚の少女か娼婦の髪型だとされていた」、「モナ・リザは、既婚女性なのに、下ろした髪型で描かれている(出所:ウィキペディア)」という矛盾点が指摘されていたが、以上の推測はその謎に対しても、一つの解答を与え得る。また、モナ・リザの絵に描かれた彼女の顔は、その胴体部に比して若く、あどけなさが残り、はにかみながらも微笑みを浮かべているところも、「未婚の彼女と裸身」ということに対して調和性を見せているのではなかろうか?











関連して、「男性の頭部図と目の構造」は、「男性の 横顔」の男性とまったく同 じ人物の顔である。これに、 潜む内容は存在しないよう である。

…『モナ・リザ』と呼ばれているのは、16世紀のイタリア人芸術家、伝記作家ジョルジョ・ヴァザーリの著書『画家・彫刻家・建築家列伝』の「レオナルドは、フランチェスコ・デル・ジョコンドから妻モナ・リザの肖像画制作の依頼を受けた」という記述が元となっている[4][5]。イタリア語の「ma donna」は「私の貴婦人」を意味し、短縮形で「mona」と綴られる。ヴァザーリが著作に書いているように「mona」が伝統的な綴りではあるが[4]、現代イタリア語では「madonna」の短縮形は「monna」となることが多い。したがって「モナ・リザ」を現代イタリア語で綴ると「Monna Lisa」となるが、世界の多くの言語では一般的に「Mona Lisa」(または「Mona Liza」)と綴られている。

ウィキペディア https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A2%E3%83%8A %E3%83%BB%E3%83%AA%E3%82%B6

レオナルドの伝記が書かれたヴァザーリの著書『画家・彫刻家・建 築家列伝』は、レオナルドが死去した31年後の1550年に出版され たものである。そして現在にいたるまで、『モナ・リザ』の来歴や モデルの特定などの情報源としては、この『画家・彫刻家・建築家 列伝』がもっともよく知られた文献資料となっている。2005年に ドイツのハイデルベルク大学図書館の研究者が、大学の蔵書である 1477年に出版されたキケロ全集の余白部分にラテン語の書込みを 発見した。この書き込みは、レオナルドの同時代人でフィレンツェ の役人だったアゴスティーノ・ヴェスプッチ (en:Agostino Vespucci) が1503年に記したもので、ヴェスプッチはレオナルドを 著名な古代ギリシアの画家アペレスに例える文章を書いた人物だっ た。ヴェスプッチの書き込みには、レオナルドがリザ・デル・ジョ コンドの肖像画を制作している最中であることが、1503年10月と いう日付とともに記されていた[6][7]。2004年に実施された赤外線 分析の結果からも、『モナ・リザ』の制作開始年が、ジョコンドが 次男を出産した1503年ごろだといわれている[8][9]。

ウィキペディア

レオナルドが1525年に死去する際に、弟子のサライに「ラ・ジョコンダ (la Gioconda)」という題名の肖像画を遺贈したことが、サライの個人的覚書に記されている。イタリア語の「jocund」は「幸福」や「陽気な」を意味する。「La Gioconda」はモデルの姓であると同時に、「幸せな人」を意味する「La jocund」の語呂あわせにもなっている[10][11]。

『モナ・リザ』のモデルであるリザ・デル・ジョコンドは [12][13]、フィレンツェとトスカーナに起源を持つゲラルディーニ家の出身で、フィレンツェの裕福な絹商人フランチェスコ・デル・ジョコンドと結婚した[10]。フランチェスコが『モナ・リザ』の制作をレオナルドに依頼したのは、デル・ジョコンド一家の新居引越しと次男アドレアの出産祝いだったと考えられている[14]。

ウィキペディア https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A2%E3%83%8A %E3%83%BB%E3%83%AA%E3%82%B6